



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.16

ギャラクシー賞ラジオ選奨委員会では、聴く機会の少ないギャラクシー賞の入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺い、ともに語り合う会を毎年開いています。

今回は、第50回ギャラクシー賞ラジオ部門大賞受賞作品と特別賞受賞作品の試聴、大賞作品制作者そして、DJパーソナリティ賞受賞者をお招きして番組や制作に関して自由に意見を交換し、語り合いたいと考えています。参加をご希望の方はこの用紙に必要事項をご記入の上、ファクスにてご返送ください。ラジオ関係者だけでなく、多方面からのご参加をお待ちしております。

試聴番組とゲスト

◆「日々感謝。ヒビカン」 大賞受賞作

番組タイトルは通常のまま、広島平和記念公園から原爆投下 67 年の日を伝えています。ゲストに詩人で作家のアーサー・ビナードさんを迎えて、慰霊碑を巡りながら原爆と被爆体験、更に今につながる原発の怖さについて正面から取り組んでいます。地元放送局としての責務を果たすとともに、現場からのリアリティ、ゲストの説得力、心に響く言葉が三位一体となって戦後世代に迫る構成と演出は、ラジオの真価を發揮した番組です。

ゲスト： 増井威司さん(中国放送ラジオ局ラジオ制作部長) 青山高治さん(中国放送アナウンサー)

◆ DJパーソナリティ賞 ピーター・バラカンさん

1986 年からテレビやラジオの音楽番組を中心に、司会や DJ を多数担当。2012 年 9 月～InterFM 執行役員。

「自分で選んだ曲」を「自分の言葉」で紹介する。DJ としての 30 余年、一貫して守ってきたその姿勢は、多くのリスナーの信頼を得ています。ジャンルでくくらず、ミュージシャンの名声にとらわれない選曲は、音楽の自由な楽しみ方をリスナーに教えてくれました。良き音楽の紹介者であり、ラジオの重要な牽引役です。

◆「小沢昭一さん追悼特別番組～あしたのころだ…小沢昭一について考える」特別賞受賞作

1973 年から 2012 年 12 月まで約 40 年間放送された「小沢昭一の小沢昭一的ころ」は、時事問題から下ネタまで幅広く言葉巧みに世相を切り取り、“口演”と称した小沢昭一さんの見事な話芸で人気を博し、ラジオ界に大きな功績と足跡を残しました。この追悼番組では過去の放送音源から厳選した、都々逸、一人芝居、ハーモニカ演奏など名場面に込められた「ラジオのころだあ」が熱く伝わります。

◇日時 12月1日(日)午後1時～午後5時 開場：午後0時30分

◇会場 赤坂 TBS セミナー室 (TBS 放送センター11階)

～交通アクセス～

千代田線「赤坂駅」3b 出口 直通

銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」10 番出口 徒歩 5 分

◇参加費 (資料代を含みます) お一人 1,500円 (学生 1,000円)

*受付にて当日精算となります。

◇協力 TBS ラジオ&コミュニケーションズ

◇主催・問い合わせ NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会 TEL.03-5379-5521

▼申し込み記入欄 (※切：11月25日 但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

FAX 03-5379-5510 (放送批評懇談会 事務局)

メールでも受け付けております。タイトルに「聴く会参加希望」とお書きの上、

お名前、所属、連絡先を次のアドレスへお送りください。 info@houkon.jp

お名前	所属
連絡先	

*複数名ご参加の方は、お手数ですが、この用紙をコピーの上、お申し込みください。

切り取らずにこのまま FAX してください！